

2021年1月20日

実証実験総合監修

井手亜里（京都大学名誉教授）

株式会社 富田屋（事業者）

合同会社 MorpheTech（実験受託）

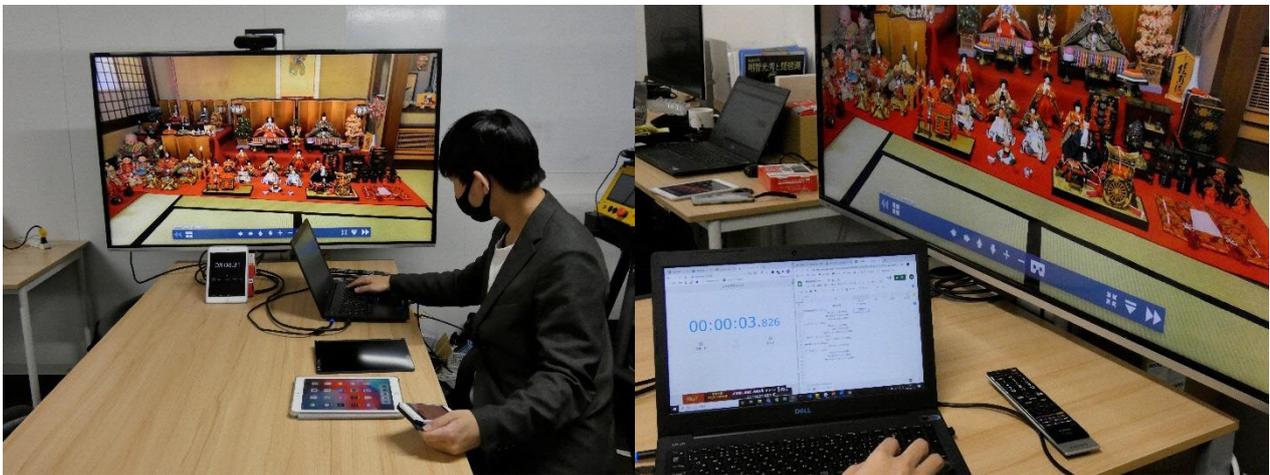
多言語デジタル文化観光実証体験事業  
（5G対応型研究開発・実証推進事業）

<事業の背景と今後のデジタル文化観光として目指すビジョン>

1. デジタル技術の進歩は目覚ましく、早い。今以上遅れをとってはいけない。日本は超高精細撮影技術（京都大学開発技術、1画像ファイルは100GB）で世界をリードする立場にあって、今も変わらない。360度VR撮影技術（200K-500K）は3D撮影技術にも新しい波をもたらす。このような巨大ファイルを扱う、配信することは極めて重要である。5Gの配信時代になるとその配信速度は5-10倍も速くなることは期待され、今回の予備実験実証をおこなう。  
「富田屋（とんだや）」は敷地面積が660平方メートルにも及び、京都に存する町家中でも屈指の本店（おおだな）であり、5件の建築物が国の文化財として登録されている。これまで、町家の公開事業や様々な日本文化の体験事業（着物、華道、茶道、手巻き寿司、折り紙など）を開催し日本人観光客・外国人観光客に日本生活文化の紹介や体験事業を実施してきた。（文化庁の「令和2年度文化財多言語解説整備事業」（事業者：株式会社富田屋、採択26,370千円98%補助）
2. オーバーツーリズムや昨今のパンデミックに対応するため、従来のリアル観光に加えて、デジタル文化観光事業の創出を目指し、京都大学（井手亜里京都大学名誉教授）の協力と同氏が開発されてきた技術を活用し、高精密デジタルデータでの文化財を完全保存するとともに、そのデータを活用したVR観光、リモート観光等の展開を推し進めていきたいと計画している。
3. 文化庁事業において、富田屋にスマートサイネージを設置し、QRコードとクラウドデータを活用した臨場感あふれる町家施設&伝承歳時記の多言語案内の構築を目指しており、将来的には各自の端末（スマートフォン、タブレット）を通して高精密デジタルデータ配信によるリモート観光事業を立ち上げたいと考えている。
4. 今回、京都府・（公財）京都産業21の「5G対応型研究開発・実証推進事業」の採択を受け、けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）において、上記文化庁事業で制作する高精密VRやビデオの実証伝送テストを実施し、多言語デジタル文化観光の足掛かりにしたいと考えている。

<富田屋 5G 実証実験計画>

1. 日時：2021年1月22日14時～16時（予備日）2021年1月25日14時～16時
2. 場所：KICK内けいはんなロボット技術センター (<http://kick.kyoto/robotics/>)
3. 実証実験：  
5G ルーターとスマホ、タブレット（iPad, Android）を接続し、各端末で下記のコンテンツ表示実験を行う。それぞれのコンテンツ表示に関わる時間を計測し、4G 接続時と比較する。
  - 高精細 360 度画像（富田屋）
  - E3D マップ（富田屋）
  - Android（サイネージ用）アプリ（富田屋）
  - 360 度動画（富田屋）
  - 高精細スキャニング画像（仁和寺）



<連絡先>

実証実験総合監修 井手亜里（京都大学名誉教授）（080-3803-8127）  
事業者 株式会社 富田屋 田中峰子（090-3268-4257）  
実験受託 合同会社 MorpheTech（モルフェテック） 渡邊 伊織（080-5700-8449）

※事務連絡は合同会社 MorpheTech へお願いします